

【学校だより】

ほさかっこ

穂坂っ子

【学校教育目標】

心豊かで
かしこく
たくましい子ども

平成31年2月22日 NO.10 穂坂小学校長

卒業式・終了式…という言葉を目にするようになってきました

次に備えて…子どもの成長！（心の成長も認めてあげたい）

寒さの中にも日差しをあたたかさを感じる季節となりました。草木も、春に向けて着々と準備を進めています。

3学期も半ばになり、卒業に向けての取組（6年生は卒業制作や合唱等、在校生は各プロジェクト及び合唱等）が始まっています。過日に行われた音楽集会でも、卒業式に歌う歌が体育館に響き渡り、平成30年度の終わりが近づいていると感じました。6年生には、卒業までの1日1日を大切に過ごしながら、穂坂小で多くのことを学び、誇りと希望を持って中学校に進学してほしいと思っています。他の学年も1年間のまとめをする大切な時期です。その学年の学習内容はもちろん、今身につけるべき基本的な生活習慣をしっかり身につけて、「こんなことができるようになったよ」と胸を張って、次の学年に進んでほしいと思います。



毎朝、子どもたちを玄関で迎えていると、「みんな、随分大きくなったなあ！」と感じます。外見の成長は、すぐに分かります。それに対して、心の成長は見えにくいものですが、『心の成長は子どもの様々な行動に現れる』と言われていきます。たとえば、子どもの『友人関係はどう変化しただろうか…、言葉遣いは…、読書傾向は…、趣味やこだわりは…』等々、子どもの何気ない様子や行動に目を向けることで、心の成長が見えてくるのです。



子どもたちの小さな成長を見逃さず、認め・励ますことが、大きな成長へと結びついていきます。私たち大人は、子どもの心の成長を認めてあげることができる目を、持ち続けていく必要があると言えます。

シリーズ⑨

褒め言葉の効用！

さりげない一言が、あたたかい！

何気ない……「つ・ぶ・や・き」
その一言が、心を捉えることも……！

「つぶやき」は、特別の目的や意図を持たない吐息のようなもので、構えた言葉ではありません。むしろ、構えた言葉を言い尽くした後で、それらの構えから解放された時に、ふと口から言葉が出ます。思いがけない子どもの「つぶやき」が、思いがけなく親の心をとらえることがあります。その逆で、思いがけない親の「つぶやき」が、子どもの心をとらえることもあるということです。説法のように説得させようと思うのではなく、吐息のような力を抜いた言葉が、子どもの心に響くこともあるのです。

「ふれあい教室・道徳授業参観」(1/20)

たくさんのご出席、ありがとうございました

今年も「ふれあい教室」が、盛大に行われました。穂坂公民館・PTA・学校が一体となった穂坂地区の一大行事は、穂坂小学校のみならず、穂坂地域の伝統となっています。似たような行事は他校でもありますが、公民館関係者と共同で事業を行うといったことは県内でもほとんどありません。この伝統ある行事は、これからも後生に残したいと思います。当日は小雨のため、外で遊ぶことはできませんでしたが、保護者の皆様方のご協力により、無事終了することができました。



ありがとうございました。

(PTAの役員の皆様…ありがとうございました)